リーディングDXスクール事業 【実践事例】

西米良村立西米良中学校（宮崎県）

【取組内容①】 学校と家庭をつなぐコネクト学習の学びを活かした授業づくり

日常使いの中で、学びのスタイルを進化させ、学校や家庭での学習を充実させています

研究の基本的な考え方

主体的・協働的に学び合い、創造性豊かな児童生徒の育成

～一人二台端末の活用により学校と家庭をつなぎ、確実な学びの定着を図る授業づくりを通して～

- コネクト学習を通して個の学びを充実
- 単元の目標の達成
- 単元全体の内容をつなぎ・広げ・深める
- 学校と家庭での学びのシームレス化を実現
- 本時目標の達成
- 一人二台端末の強みを生かした授業展開

目指す授業

一人二台端末を効果的に活用したコネクト学習により、学校と家庭をつなぎ、確実に学んだことを定着させ、児童生徒が主体的・協働的に学び合うことができる授業

西米良村小中合同主題研究会

「授業改善」をねらいとした実践的研究スタイル

西米良村小中合同主題研究会は、村内小・中学校の職員が一堂に会し、教育実践を通して児童生徒の教育的な課題の解決を図っています。

小中合同授業研究会

毎年、小・中学校で１本ずつ、研究主題に沿った研究授業を行っている。その後、協議会を設けることで、授業改善に役立てている。クラウドの活用により、意見の共有や保存を容易にしている。

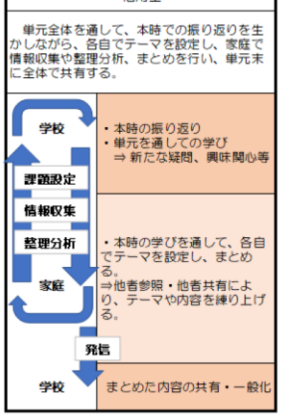
コネクト学習の概要

コネクト学習
- 予習型：家庭から学校への学びにつなぐ
- 復習型：学校から家庭への学びにつなぐ
- 活用型：単元内の個別の学びにつなぐ

	スタンダード	復習型	予習型
	「問いをつかむ」から「振り返る」まで、全段階を通す標準的な授業スタイル。	学校でスタンダードの授業の流れを行い、家庭で自分の力に合わせて「確かめる」学習を充実させる。	家庭で考えをもたせることで導入の時間を短縮し、協働作業・協働解決・確かめる時間を確保する。
家庭			考えをもつ
学校（一単位時間）	問いをつかむ	問いをつかむ	問いを解決する
	考えをもつ	考えをもつ	
	問いを解決する	問いを解決する	まとめる
	まとめる	まとめる	確かめる
	確かめる	確かめる	振り返る
	振り返る	振り返る	問いをつかむ
家庭		確かめる	

活用型

単元全体を通して、本時での振り返りを生かしながら、各自でテーマを設定し、家庭で情報収集や整理分析、まとめを行い、単元末に全体で共有する。



小中合同での模擬授業

小・中学校合同で模擬授業を行い、異なる学校種の先生方と協議をしながら、様々な視点で授業力の向上、より良い授業改善に役立てた。協議の際にクラウドを活用することで、意見の集約や共有が容易になり、深まりのある会となった。

学校で学んだ学習内容を、AI 型ドリルや Google Forms、Microsoft Teams 等を活用した復習にすることで、自動採点や間違いに応じた解説、誤発音の部分の視覚化などが瞬時にできるため、より個別最適な学びにつなげることができる。

個別最適な学びの充実

日常使いで協働的な学びを充実